

女子 生光学園 3連覇 阿波 男子

女子団体決勝・生光学園対香長 生光学園の大將・渋谷(上)が
けさ固めで押さえ込む=鳴門アミノパリュールホール(山田旬撮影)



第1日

第61回四国中学校総合体育大会(四国中体連など主催)が29日開幕した。鳴門アミノパリュールホールで柔道の団体戦が行われ、男子の阿波と女子の生光学園が3連覇を果たした。阿波は8度目、生光学園は3度目の優勝。県勢が男女とも制するのは3大会連続となった。第2日の30日は同ホールで柔道の個人戦がある。大会は8月9日までの延べ9日間、4県で17競技が予定されている。



柔道

(鳴門アミノパリュールホール)
徳島県関係

【女子】団体予選リーグA組①香長(高知) 2勝1分け②今治日吉(愛媛) 1勝1敗1分け③桜野(香川) 1勝2敗④上板1勝2敗⑤3.4位は勝敗の合計による。
▽B組①生光学園3勝②久米(愛媛) 2勝1敗③高知1勝2敗④牟礼(香川) 3敗⑤各組上位2校が決勝トーナメントへ。

▽決勝トーナメント1回戦
生光学園 3-0 今治日吉

○岡田 負い投 山田
○小畑 反則勝 西村
○渋谷 内股 兒山

▽決勝
生光学園 2-1 香長
○岡田 合わせ 新谷
小畑 合わせ 脇○
○渋谷 けさ固 濱渦
生光学園は3大会連続3度目の優勝。

積極果敢な攻め実る

生光学園

香長(高知)との女子団体決勝。勝負の行方を託された生光学園の大將・渋谷は一本負けした中堅・小畑主将から左手で背中をポンポンとたたかれて畳に上がった。「気合が入った」と言う3年生は早々に相手の攻撃をかわして倒し、得意のけさ固めで3連覇を決めた。

積極的に攻めた先鋒(せんぼう)の岡田は開始20秒で得意の袖釣り込み腰で倒し、そのまま押さえ込んで一本勝ちした。小畑も果敢に体落としを狙ったが常に後手を踏み、終了20秒前に合わせ技で一本負け。「相手の仕掛けが速く、リズムをつかめなかった」と首みた。

8月17日から徳島県で開催される全国中学校体育大会(全中)で日本一を目指す3人は福岡県での合同練習会に参加。力の強い全国の高校生と組んで技の精度を磨いて臨んだ。

四国総体は全中と同じ鳴門アミノパリュールホールで行われ、本番さながらの雰囲気を感じた。表彰式で受けた多くの拍手に期待の大きさを感じた小畑主将は「全中で勝てるよう自分を追い込む」と目標達成へ鍛錬を誓った。(南志郎)